

令和6年5月10日

お知らせ

課名	農産課	農林水産 総合センター 農業研究所 (岡山県病害虫防除所)
担当	安河内・三浦	長森・畔柳
内線	3818・3820	—
直通	086-226-7422	086-955-0543

病害虫発生予察注意報を発表しました (果樹カメムシ類)

県では、果樹の主要害虫である「果樹カメムシ類」が、今後、多発生することが予想され、モモ、ナシなどの果実への被害を未然に防止するため、「病害虫発生予察注意報」を発表しましたので、お知らせします。

農業普及指導センター、農業協同組合等を通じて、生産農家に防除対策の徹底を呼びかけてまいります。

(参考)

1 病害虫発生予察注意報

植物防疫法に基づき、病害虫防除所が病害虫発生予察事業として、県内の主要病害虫の発生状況等から、病害虫の多発が予想され、かつ、早めに防除措置を講ずる必要が認められた場合に発表する。

2 過去の発表状況

「果樹カメムシ類」の注意報（近年）は、平成18年、平成22年、平成26年、令和2年、令和4年に発表している。

3 注意報の根拠

- ・赤磐市のフェロモントラップ及び予察灯におけるチャバネアオカメムシの4月21日から5月5日の誘殺数が平年と比べて多い。
- ・5月8日の巡回調査におけるモモでの被害程度は軽微であったが、被害発生ほ場率が平年と比べて高い。
- ・広島地方気象台の4月23日発表の季節予報によると、向こう3か月は飛来に適した気象条件が続くと考えられる。

○「果樹カメムシ類」の被害

果樹カメムシ類はモモ、ナシなどで被害が大きい。針のような口を果実に突き刺して汁を吸い、果実の商品価値が下がる。

モモ、ナシでは果実の小さいときに吸汁されると、その部分の肥大が止まり、収穫期には果面が凸凹になる。また成熟期に近い時期に吸汁されると、吸汁痕が指で押したような水浸状になり、内部はスポンジ状になる。

(注) 果樹カメムシ類の種類：チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ



チャバネアオカメムシ (体長 10~12mm)